

2023年5月1日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 Z U U
代 表 者 名 代 表 取 締 役 富 田 和 成
(コード番号：4387 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 藤 井 由 康
(TEL. 03-4405-6102)

通期業績予想修正及び特別損失計上に関するお知らせ

業績の動向を踏まえ、2022年5月13日に発表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値の修正

2023年3月期通期連結業績予想修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,717	百万円 372	百万円 370	百万円 216	円 銭 45.57
今回修正予想（B）	3,399	210	209	73	15.52
増減額（B－A）	△318	△162	△161	△143	－
増減率（％）	△8.6	△43.5	△43.5	△66.2	－
（ご参考） 前期実績（2022年3月期）	3,376	△244	△242	△230	△48.71

2. 修正の理由

売上高につきましては、リテール・フィンテック領域において、Googleコアアルゴリズムアップデートの影響によりOrganic流入数が減少し、メディア関連売上が前回発表予想より132百万円減少する見通しです。またコーポレート・フィンテック領域において、コンサルタント採用計画の未達や広告宣伝による新規受注の伸び悩みにより、PDCAノウハウによるコンサルティングサービス「PDCA Engineering」等の売上が前回発表予想より199百万円減少する見通しです。

営業利益、経常利益につきましては、上記売上高の減少に伴う売上総利益の減少を主たる要因とし、コスト面では人材採用計画の未達や広告費の抑制による経費減少があったものの予想を下回る見通しとなったため、下方修正いたします。

また親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したと判断したものについて、特別損失として投資有価証券評価損30百万円を計上することとし、予想を下回る見通しとなったため、下方修正いたします。

3. 特別損失の計上及びその内容

上記2に記載のとおり、当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したと判断したものについて、特別損失として投資有価証券評価損30百万円を計上することといたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。今後、変更すべき事象が生じた場合には速やかに発表いたします。

以 上